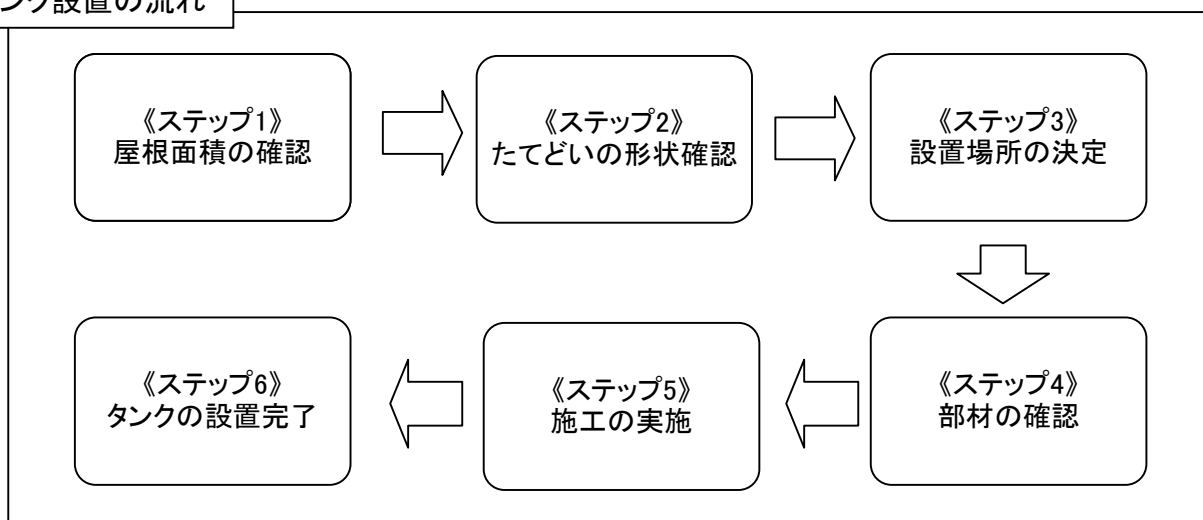
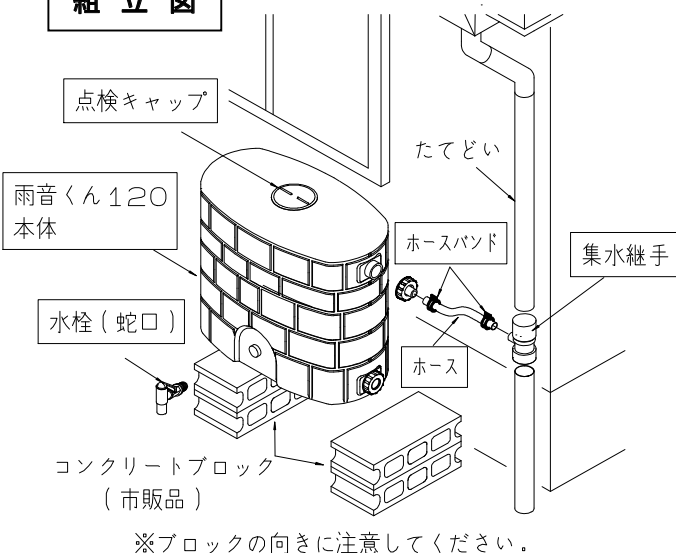
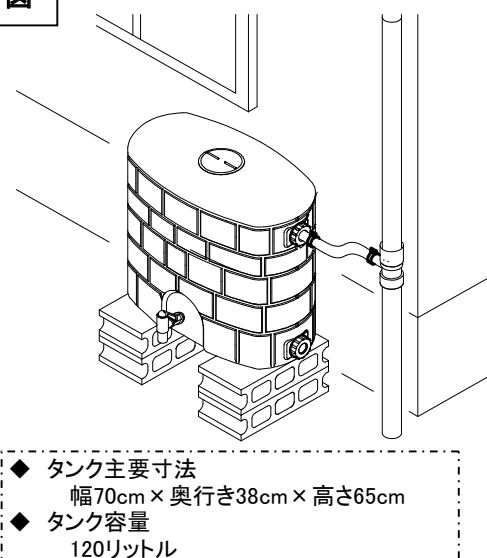
雨水貯留タンク　雨音くん 120リットル
ー 施工説明書 ー

○この施工説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上で施工ください。
○ここに示した注意事項は、商品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
　施工にあたっては必ずお守りください。
○別途取扱説明書が付属されておりますので、必ずお施主様へお渡しください。

注意1
集水継手の位置が適切でない場合、タンク内に雨水が入らなかったり、点検キャップから雨水があふれたりする事があります。6ページの施工手順をよく読み施工してください。

注意2
架台として使用するコンクリートブロックは、必ず横置きで積んでください。段数は標準で2段です。

安全上のご注意

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害が想定される内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。　　❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

1. 施工上の注意

⚠警告

	●本製品は雨水専用です。絶対に雨水以外の薬品等を貯留したり、混ぜたりしないでください。 ・薬品等が混入したタンク内の水を誤って飲んだ場合、人体に重大な危害を及ぼす危険性があります。 ・著しい強度低下につながる危険性があり、製品の破損の原因となります。
	●タンクが満水になると重量が約145㎏になります。地面の沈下等の恐れがある場合は、必ずコンクリート等の基礎を施してください。 ・タンクの安定が悪い場合は転倒事故の原因となりますので、直ちに水を抜き、使用を中止してください。
	●タンクの架台としてはコンクリートブロック横置き以外は使用しないでください。 ・タンクと架台との設置面積が小さい場合、タンク本体が変形・破損して転倒事故の原因となる恐れがあります。
❗	小さなお子様が周辺で遊ぶ箇所に設置する場合は、タンク本体左右の埋め込みナット(サイズM6)を利用してクサリ(オプション)を取り付けるなど転倒防止策を施してください。

⚠注意

❗	タンクの持ち運び時およびたてどいの切断作業時は、手を保護するために手袋(軍手)を着用してください。
❗	タンクは重量物(約7kg)です。無理のない姿勢で運搬ならびに作業を行ってください。
❗	商品に油や洗剤、シンナー等の有機溶剤をこぼした場合、完全にふきとってください。
⊘	指定の部品以外は使用しないでください。
❗	施工後、ガタつきがないか、キャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
❗	取扱説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法及びメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。
⊘	●水栓やキャップ、点検キャップを取付けるときに工具は使用しないでください。 ・製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。
⊘	●改造などは絶対しないでください。 ・改造やペイントは著しい強度低下につながる危険性があり、製品破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 保管、取扱い上の注意

⚠警告

	●タンク周辺で火気を使用しないでください。 火災及び変形の原因となります。

⚠注意

❗	商品の取扱いは必ず手袋(軍手)を着用してください。
⊘	タンクは上積みしすぎると荷くずれをおこし、ケガをする危険性があります。 2段以上は積まないでください。また、横積み状態での保管は避けてください。

≪ステップ1≫　屋根面積の確認

タンクを設置するたてどい1本あたりの屋根面積を確認してください。

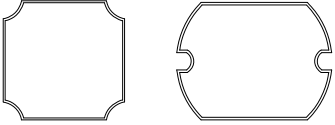
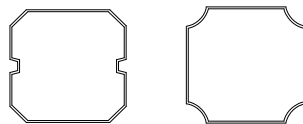
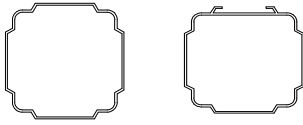
集水継手は少量の雨水も効率よく貯留タンクに集めるよう設計されております。
そのため、貯留タンクが満水になった状態で多量の雨水が流れ込んだ場合、
集水継手からたてどいの外側へオーバーフロー（溢れる）します。なお、集水継手の
排水能力につきましては、下表をご参照ください。

集水継手の排水能力（弊社実測値）		たてどい1本あたりの屋根面積（m^2）					
		25	30	35	40	45	50
降雨強度（mm）	5						
	10						
	15						
	20						
	30						
	40						
	50			雨水がオーバーフロー”しない”範囲			
	60						
	70						
	80						
	90						
	100						
	110						
	120						※

※雨水がオーバーフロー”する”範囲

＜備考＞

一般的な家屋において、通常の降雨ではオーバーフローいたしません。
降雨強度につきましては、下表をご参照ください。
また、雨水がオーバーフローしても、たてどい・集水継手・タンク本体等が破損することはありません。

降雨強度	雨の降り方の様子
5 mm	地面に水溜りができる
10 mm	雨の音が聞こえるようになる
15 mm	雨音で話が聞き取りにくくなり、地面一面に水たまりができる

≪ステップ2≫　たてどいの形状確認

施工可能なたてどいは下表のとおりです。　　単位：mm

	メーカー名	呼称	切断寸法※		断面形状	備考
			A	B		
丸たてどい	各社共通	ｻｲｽﾞ55	45	75		糸を一周巻いてその長さが約173mmであればｻｲｽﾞ55です。
		ｻｲｽﾞ60	70	50		糸を一周巻いてその長さが約190mmであればｻｲｽﾞ60です。
角たてどい	タキロン㈱ takiron	T30	70	50	T30	
	積水化学工業㈱ SEKISUI	Y60	70	50	Y60	
		MY60	70	50	MY60	
	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工㈱（松下電工㈱）	PC30	45	75	PC30	
		S30	70	50	S30	
	電気化学工業㈱（東洋化学㈱）	K−35	70	50	K−35	
		F−35	70	50	F−35	
	三菱樹脂㈱	V・60	70	50	V・60	

※　切断寸法については、7ページの施工手順（5）を参照ください。

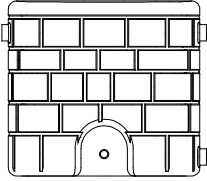
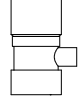
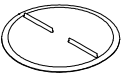
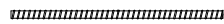
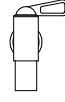
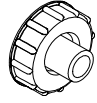
《上表以外の角たてどいに設置する場合》
集水継手を取り付ける部分を丸たてどい60に変更してください。
丸たてどいに変換する部材は各メーカーで販売されています。必ず角たてどいと同じメーカーの部材を使用してください。
（必要部材：丸たてどい60（50cm）　1本、　丸たてどいに変換する部材　2個）

≪ステップ3≫　設置場所の決定

設置場所を決定する際には、以下の点にご注意ください。

●タンクが満水になると重量が約145Kgになります。地面の沈下等などの恐れがある場合は、コンクリート等の基礎を施してください。

●お子様が遊ぶ周辺への設置の際は、クサリ（オプション）で家の壁面などにタンクを固定してください。

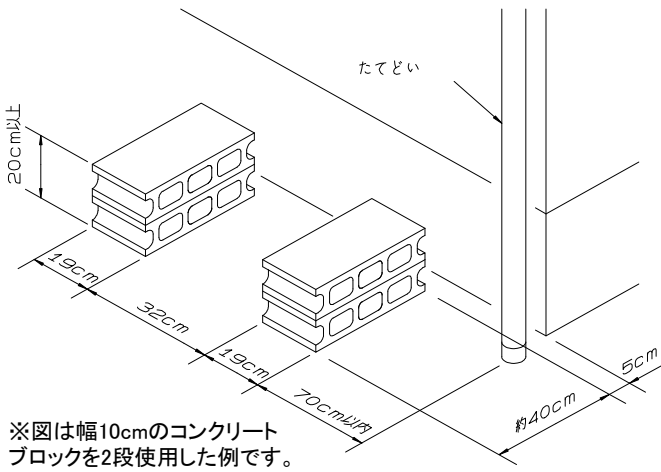
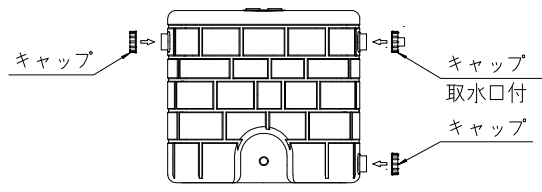
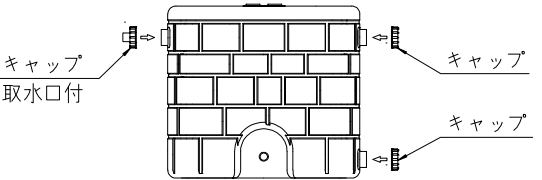
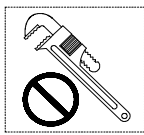
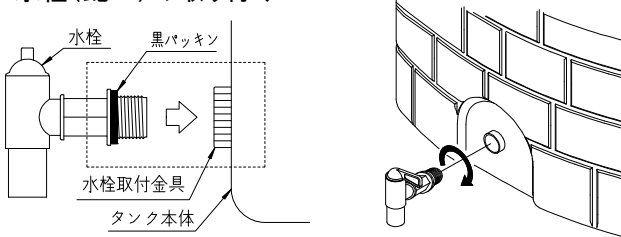
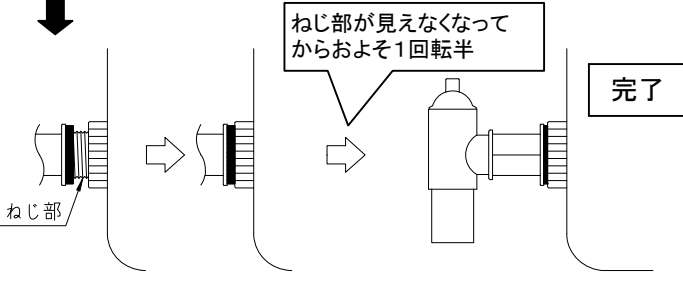
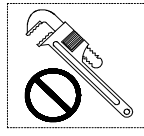
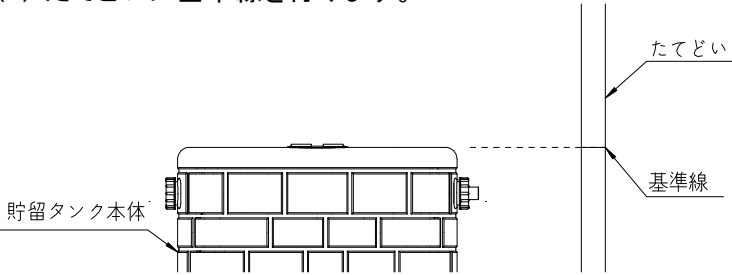
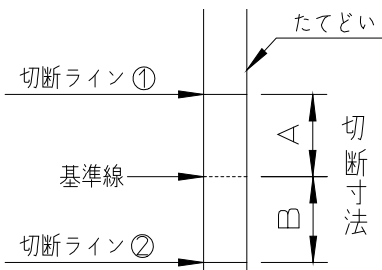
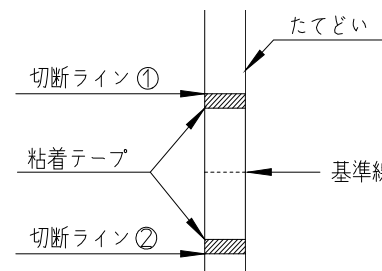
●付属ホースの長さは70cmです。ホースの長さの範囲内でタンクを設置してください。

≪ステップ4≫　部材の確認

施工前に梱包内容の確認を実施してください。万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、購入された販売店様又はタキロン㈱までご連絡ください。

（連絡先は取扱説明書の裏表紙をご参照ください。）

名　称	略　図	数　量	名　称	略　図	数　量
タンク本体		1台	集水継手		1個
			ホースバンド		2個
点検キャップ（本体組込済）		1個	ホース（70cm）		1本
			水栓（蛇口）（パッキン付き）		1個
キャップ		2個			
			施工説明書		1部
キャップ（取水口付）		1個	取扱説明書		1部

備考：転倒防止のために壁に固定するためのクサリ（オプション）をご用意しています。

≪ステップ5≫　施工の実施

1.施工の前に

施工時に必要な工具及び部材をタンクの取付け前にご準備ください。

		工　具・部　材	個 数	用　途
工具	1.	ノコギリ(金切もしくはプラスチック用)	1本	たてどい切断用
	2.	油性マジック	1本	たてどい切断時のマーキング
	3.	メジャー（コンベックス）	1個	たてどい切断基準線の確認
	4.	プラスドライバー	1本	ホースバンド取付け用
	5.	ものさし	1本	たてどい切断位置の寸法測定
	6.	カッターナイフ	1本	たてどい切断後の端面処理
	7.	粘着テープ	1本	たてどい切断時の目安
	8.	手袋（軍手）	1組	作業時の保護具
部材	8.	コンクリートブロック	4個	タンクの架台（横置き2段積み）として使用します。

2.施工手順

以下の取付け手順に従って施工を行ってください。

取付け手順	詳細（注意点など）

（1） たてどいを基準にタンク設置場所を決定し、市販のブロックを横置きにして水平になるように設置します。

※図は幅10cmのコンクリートブロックを2段使用した例です。

使用するブロック幅	10cm	12cm	15cm	19cm
2段の高さ	20cm	24cm	30cm	38cm
蛇口下までの高さ	23cm	27cm	33cm	41cm

・使用されるバケツ等の高さに合せ市販のコンクリートブロックを準備してください。
（ブロックの種類、幅10cm,、12cm、15cm、19cm）

・10cmコンクリートブロック2段の場合は、蛇口の下に8Lバケツが置けるぐらいの高さ(23cm)です。

・雨水の取水は左右どちらからでも可能です。

⚠ コンクリートブロックは必ず横置きで設置してください。

⚠ 設置場所が土の上になる場合は、コンクリートブロックが水平になるように土をふみ固めてください。

⚠ たてどいからタンクまでの距離は付属のホース（70cm)が届く範囲とします。

⚠ タンクが満水になると重量が約145kgになります。地面の沈下等などの恐れがある場合は、コンクリートなどの基礎を施してください。

⚠ タンク本体は、満水時にタンク背面が膨らむため、壁面から5cm程度離して設置してください。

（2） キャップの取り付け

・タンク本体に、キャップ（2個）、取水口付キャップ（1個）を手で取り付けます。

・雨水のタンクへの流入は左右どちらからでも可能です。流入する側に、キャップ（取水口付）を取り付けてください。

⚠ 工具を使ってキャップを締め付けないでください。破損いたします。

（3） 水栓（蛇口）の取り付け

・水栓（蛇口）に黒色のパッキンが付いていることを確認して、タンク本体に手で取り付けます。

・水栓は時計まわりに締め付け、ハンドルが水平となる位置で固定してください。

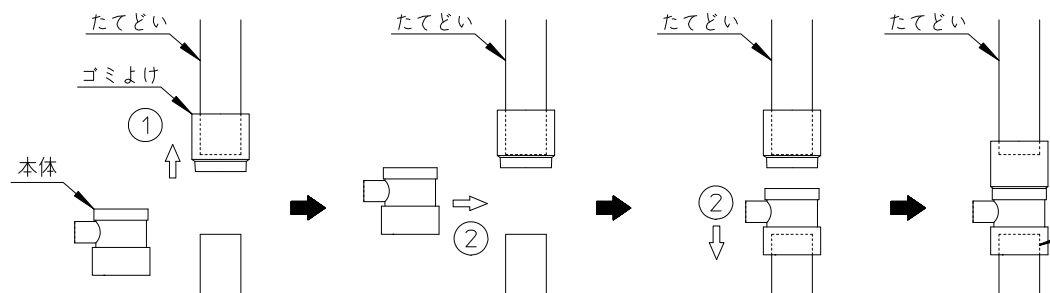
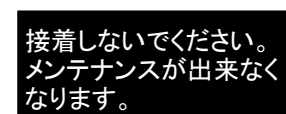
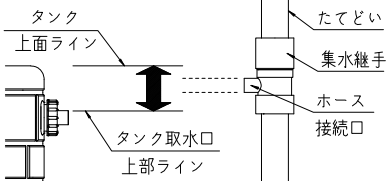
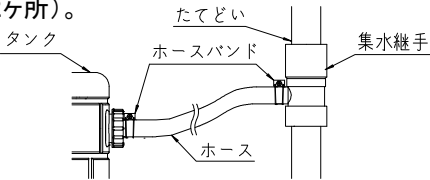
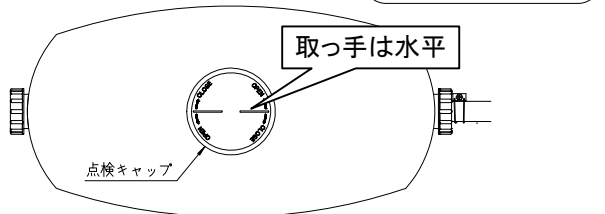
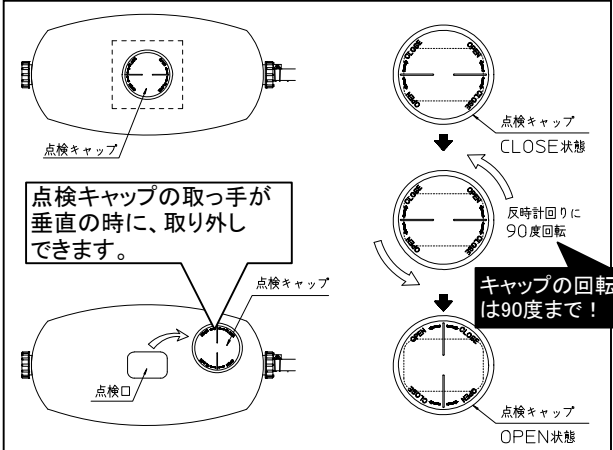
・締め付けの目安としては、水栓のねじ部が見えなくなってからおよそ1回転半程度で取り付け完了します。

⚠ 工具を使って水栓を締め付けないでください。破損いたします。パッキンが見えない状態は締めすぎです。

取付け手順	詳細（注意点など）
(4) たてどいに基準線を付けます。	・メジャー（コンベックス）を用いて、地面からタンク上面までの高さを測定します。次に、たてどいを地面から測定して、タンク上面と同じ高さの位置に、マジックで基準線を印付けます。

(5) 各メーカーのたてどいに対応した寸法でたてどいを切断してください。たてどいの切断寸法は、下表の一覧を参照してください。切断後、たてどいの端部をきれいに仕上げてください。

たてどい
切断ライン①
基準線
切断ライン②
A
B
切断寸法

・切断ラインを付けた部分にテープを一周貼ると、目安になり切断作業が行い易くなります。

たてどい種類	丸たてどい		角たてどい							
メーカー	各社共通		タキロン㈱ takiron	積水化学工業㈱ SEKISUI		パナソニック電工㈱ （松下電工㈱）		電気化学工業㈱ （東洋化学㈱）		三菱樹脂㈱
呼称	サイズ55	サイズ60	T30	Y60	MY60	PC30	S30	K-35	F-35	V・60
断面形状										
切断寸法 A	45	70	70	70	70	45	70	70	70	70
切断寸法 B	75	50	50	50	50	75	50	50	50	50

重要ポイント!!

たてどいの切断位置を間違えると、タンクが満水になった時に雨水が点検キャップからあふれたり、雨水がタンク内に入らなかったりする不具合が発生します。

⚠ たてどいは水平に切断してください。集水継手が傾き、雨水がタンク側に流れないことがあります。

・切断したたてどいは、たてどいの修復時に使用できますので大切に保管してください。

(6) 集水継手の取り付けを行います。
①ゴミよけを上側たてどいに入れます。
②本体を取付けます。このとき、ゴミよけを上側に移動させ本体を横から入れ、下げて下側のたてどいにセットします。
③ゴミよけを下げ本体にしっかりと取り付けます。

・集水継手は掃除できるよう、たてどいと接着しないでください。

取付け手順	詳細（注意点など）
(7) 集水継手　取り付け位置確認 タンク上面ライン　たてどい　集水継手　ホース接続口　タンク取水口上部ライン	・集水継手のホース接続口の位置が左図の範囲内（タンク上面とタンク取水口上部の間）にあることを確認してください。 ⚠ 集水継手のホース接続口がタンク上面よりも高い場合、雨水が点検キャップから溢れます。タンク取水口よりも低い場合、雨水がたまりません。
(8) 集水継手とタンクをホースで連結し、ホースバンドで固定します（2ヶ所）。 	・ホースが長い場合は、たるみがないようにホースを切断して使用ください。 ・ホースがねじれたり、折れ曲がったりしないように注意してください。 ・集水継手が傾かないように施工してください。
(9) 点検キャップが閉まっていることを確認します。 ●点検キャップが閉まった状態　タンクを上から見た図 取っ手は水平　点検キャップ 点検キャップの取っ手が垂直の時に、取り外しできます。 点検キャップ　CLOSE状態　反時計回りに90度回転　キャップの回転は90度まで！　点検キャップ　OPEN状態　点検口	・点検キャップの取っ手が水平になるようにしてください。 ⚠ 工具を使って点検キャップを取り付けないでください。 ・点検キャップを取り外す場合は、半時計回りに点検キャップを手で90度回転させてください。 ・点検キャップを取り付ける場合は、取り外す時と逆の手順で行ってください。 ⚠ 点検キャップを90度を超えて回転させないでください。破損する恐れがあります。 ⚠ 使用時には必ず点検キャップを付けておいてください。埃等の異物が入る原因となる恐れがあります。

≪ステップ6≫　タンクの設置完了

施工後、ガタつきがないか、キャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
以上で施工完了です。

製造メーカー：タキロン株式会社